

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 61-216012  
 (43)Date of publication of application : 25.09.1986

(51)Int.CI. G06F 1/00  
 G06F 15/30

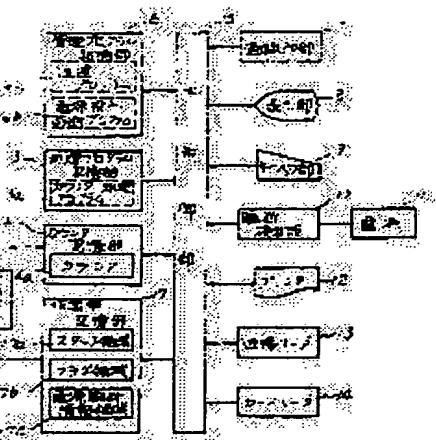
(21)Application number : 60-037970 (71)Applicant : FUJITSU LTD  
 (22)Date of filing : 27.02.1985 (72)Inventor : TAKADA YUJI

## (54) PROCESSING SYSTEM FOR HIT OF POWER SUPPLY

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To obtain materials for making the cause of a hit of power supply, etc., clear by saving information on the hit of power supply to a storage means which is stored and protected at the hit of power supply, and outputting the information on the hit of power break before operation restarts at power recovery.

**CONSTITUTION:** If the hit of power supply is generated a hit detection part 10 informs a main control part 15 of that and the power source holds its voltage for a specific time. The control part 15 starts a saving program 16a to save the contents of control registers, etc., and information on the hit of power supply in storage areas 17a and 17c, respectively. A power-on diagnostic program 16b operates after the power source recovers to holds processing in readiness with initial setting when a flag is off, or read the saved contents of the control registers, etc., out of the stack area 17a and store them in an instantaneous power break information area 17c when the flag is on. Then, the saved information on the hit of power supply and contents of registers, etc., are read out of the area 17c and outputted on a display part 8 and a printer 12. Thus the data are outputted, then stored and recovered in respective registers of a microprocessor from the area 17a, and the processing is started.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑯ 日本国特許庁 (JP)

⑮ 特許出願公開

⑯ 公開特許公報 (A)

昭61-216012

⑯ Int.CI.1

G 06 F 1/00  
15/30

識別記号

103

序内整理番号

G-7157-5B  
8219-5B

⑯ 公開 昭和61年(1986)9月25日

審査請求 有 発明の数 1 (全 5頁)

⑯ 発明の名称 電源瞬断処理方式

⑯ 特 願 昭60-37970

⑯ 出 願 昭60(1985)2月27日

⑯ 発明者 高田祐司 川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内

⑯ 出願人 富士通株式会社 川崎市中原区上小田中1015番地

⑯ 代理人 弁理士 松岡宏四郎

明細書

1. 発明の名称

電源瞬断処理方式

2. 特許請求の範囲

記憶保護された記憶手段と、電源瞬断を検出し、  
継続処理に必要な処理情報を上記記憶手段に退避し、  
電源復旧時処理中断時より再開せしめる電源瞬断  
処理方式であって、電源瞬断情報を上記記憶手段  
に退避する手段と、電源復旧時上記電源瞬断情  
報を出力する手段とを備え、上記瞬断情報を出力  
した後退避した処理情報を復旧して中断した処理  
を再開することを特徴とする電源瞬断処理方式。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は銀行端末装置等取引装置における電源  
瞬断処理方式の改良に関する。

近年、取引装置が普及しているが、稼働中に電  
源瞬断等が発生すると、記憶装置に格納している  
当日の取引勘定が喪失する恐れがあり、そのため  
該記憶装置はバッテリ等で記憶保護対策が施され

ている。

さらに取引操作中に電源瞬断が発生したとき、  
動作の中断によって取引エラーを発生させないよ  
う上記中断時から継続して動作が再開しうるよう  
に瞬断対策が講じられている。

しかし電源瞬断の復旧は自動的に行われるもの  
であり、上記対策によりオペレータは取引が続行  
できるため、電源瞬断の原因の解明に困難を來し  
ていた。

そのため原因解明のための電源瞬断情報を出力  
しうる電源瞬断処理方式が望まれている。

(従来の技術)

従来の技術をオンライン・テラーズ・マシーン  
(OTM)を例として説明する。

OTMは金融機関等における取引を自動化する  
ためのテラー用端末装置であって、中央装置と接  
続され、取引完了時中央装置の顧客ファイルを更  
新するとともに当日の取引勘定(以下カウンタと  
称する)が格納され、それに基づいて精査が行わ  
れるものである。

従って電源瞬断等によって取引中の取引情報、カウンタが喪失することは避けなければならないことであり、前述の対策が施されている。

以下OTMの電源瞬断対策の従来例を説明する。

第2図(a)はOTMの概略ブロック図、また第2図(b)は電源瞬断時および再開時における動作のフローチャートである。

第2図(a)において、1はマイクロプロセッサ等で構成される主制御部、2は管理プログラム記憶部であって、各カウンタ処理プログラム等を管理するプログラムの他、退避プログラム2a、電源投入診断プログラム2bを格納するもの、3はカウンタ処理プログラム3a等を格納する処理プログラム記憶部であり、上記記憶部2、3は不揮発性の読み出し専用の記憶素子(ROM)で構成されている。

4は取引勘定等のカウンタ4aを格納するカウンタ記憶部、5は作業用記憶部であって作業領域の他、スタック領域5a、フラグ格納領域5bが含まれる。以上の記憶部4、5は読み出し/書き込み

可能な記憶素子(RAM)で構成され且つバッテリ6により記憶保護されている。

また10は瞬断検出部、11は電源であり、その他中央装置と通信を行う通信制御部7、表示部8、キー入力部9、伝票等を出力するプリンタ12、入出金する際に通帳に記録されている取引情報を読み取る通帳リーダ13、オペレータカードまたは投宿者カードを読み取るカードリーダ14等より構成されている。

上記構成のOTMにより、テラーは現金、小切手等による預入払出取引を行うが、取引ごとに中央装置と通信を行い、中央装置の顧客ファイルを更新するとともに、該OTMではカウンタ4aを更新してテラーの取り扱う現金および小切手を管理している。

そのため取引情報を格納するカウンタ記憶部4、作業用記憶部5の内容はバッテリ6により保護されている。

以下電源瞬断時の動作を第2図(b)に示すフローチャートを用いて説明する。

(1) 各カウンタ処理プログラムでは、その先頭で該プログラム走行中を表すフラグをオンとし、処理終了後オフとする。

(2) 各部に電力を供給する電源11の電圧が規定値以下に低下したとき、瞬断検出部10は主制御部1に割込み信号を送出する。

(3) 電源11では瞬断が発生しても大容量コンデンサ等で10mS程度規定電圧値を保持しており、主制御部1では上記割込み信号により退避プログラム2aを動作せしめ、マイクロプロセッサ等の制御用レジスタ類(プログラムカウンタ、スタックポインク、アキュムレータ等)の内容をスタック領域5aに退避せしめる。

以上により電源瞬断時、カウンタ処理プログラムが走行中(フラグオン)であることおよび中断時の処理情報が保存される。

(4) 電源復旧時、主制御部1は電源投入診断プログラム2bを起動し、電源投入診断プログラム2bは上記フラグを参照し、フラグオフであればオペレータによる電源投入と判断し、所定の初期設

定を行って処理待ちとする。

(5) フラグオンの場合は電源瞬断による処理中断と判断し、退避した上記レジスタ類の内容を所定のレジスタに格納し、中断プログラムを走行せしめる。

以上により電源瞬断が発生しても自動的に復旧するため、オペレータは継続して取引処理を続行することができる。

#### (発明が解決しようとする問題点)

電源瞬断は装置内外の種々の原因により発生するが、瞬間的で且つ再現不能の場合が多い。従って上記OTMのように自動復旧して継続使用できる装置においては電源瞬断が装置の不調の原因かどうかの判断、さらには電源瞬断の解析が不能となる問題点を有していた。

#### (問題点を解決するための手段)

上記従来の問題点は、電源瞬断情報を上記記憶手段に退避する手段と、電源復旧時上記電源瞬断情報を出力する手段とを備え、上記瞬断情報を出力した後退避した処理情報を復旧して中断した処

理を再開する本発明の電源瞬断処理方式により解決することができる。

(作用)

上記本発明によれば、電源瞬断割込み信号により退避レジスタの内容の他、電源瞬断による中断情報、その他各部の検出情報等の電源瞬断情報を記憶保護された格納領域に退避格納する。

電源復旧時電源瞬断による再開(フラグオン)であれば、まず上記退避した電源瞬断情報をディスプレイ等に表示してオペレーターに喚起するとともに付属のプリンタに出力する。

続いて退避レジスタの内容を復旧して動作を再開せしめる。

以上により電源瞬断原因の解明に資する電源瞬断情報を提供することができる。

(実施例)

本発明の実施例を図を用いて説明する。

第1図(a)は実施例を示すOTMのブロック図、第1図(b)は動作フローチャートである。

第1図(a)において、16は本発明の電源瞬断処

理を実行する退避プログラム16a、電源投入診断プログラム16b等を格納する管理プログラム記憶部、17はマイクロプロセッサの制御用レジスタ類を退避するスタック領域17a、フラグを格納するフラグ領域17bの他、電源瞬断情報を格納する領域を有する作業用記憶部であり、パッテリー6で記憶保護されている。その他第2図と同一記号は同一対象物を表す。

退避プログラム16aはマイクロプロセッサの制御用レジスタ類の内容をスタックポインタの指示するスタック領域17aに格納するとともに、電源瞬断情報を電源瞬断情報領域17cに格納する。

電源投入診断プログラム16bは電源オンで起動され、各部の機能診断について、電源瞬断時処理中で有ったかどうか、フラグ領域17bを検索し、フラグオフのときはオペレーターによる電源投入と判断し、フラグオンのときは退避した上記制御用レジスタ類の内容をスタック領域17aより読み取り電源瞬断情報領域17cに格納し、前記

電源瞬断情報をとともに表示部8に表示し続いでプリンタ12に該情報を出力する。

以上の各プログラムにより、電源瞬断処理は以下のごとく行われる。(第1図(b)参照)

(1) 電源瞬断が発生すると、瞬断検出部10は主制御部15に通知するとともに、電源11は規定時間電圧を保持する。

(2) 主制御部15は退避プログラム16aを起動し、制御用レジスタ類の内容および電源瞬断情報をそれぞれの格納領域17a、17cに退避せしめる。

(3) 電源復旧後、電源投入診断プログラム16bが動作し、フラグオフのときは初期設定で処理待ちとし、フラグオンのときは以下の動作を行う。

(4)-1 スタック領域17aより退避した制御用レジスタ類の内容を読み取り、電源瞬断情報領域17cに格納する。

(4)-2 電源瞬断情報領域17cより退避した電源瞬断情報および制御用レジスタ類の内容を読み取り、表示部8およびプリンタ12に出力する。

(4)-3 上記出力完了後、スタック領域17aによりマイクロプロセッサの各レジスタに格納復旧して処理をスタートせしめる。

以上により、電源瞬断復旧時に必ず電源瞬断情報を出力されるため、障害の解明に寄与することができる。

(発明の効果)

以上説明したように、本発明によれば電源瞬断時に電源瞬断情報を記憶保護された記憶手段に退避せしめ、復旧時の動作再開前に上記電源瞬断情報を出力せしめるため、電源瞬断等の原因解明の資料を提供することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図(a)は実施例を示すOTMのブロック図、

第1図(b)は動作フローチャート、

第2図(a)は従来のOTMの概略ブロック図、

第2図(b)は電源瞬断時および再開時における動作のフローチャート、

である。図中、

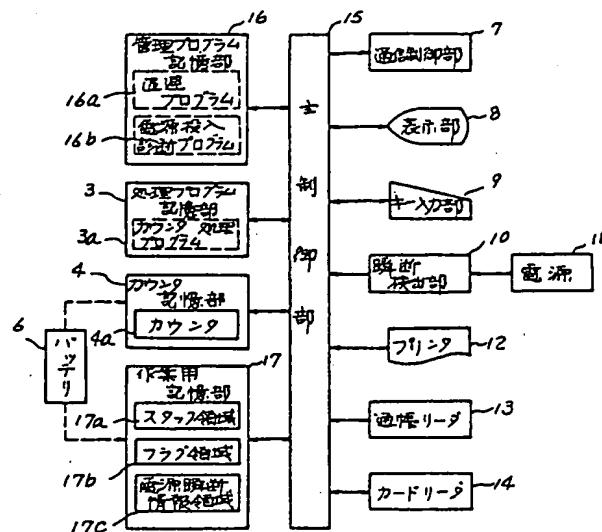
1, 15はマイクロプロセッサ等で構成される

特開昭61-216012(4)

主制御部、

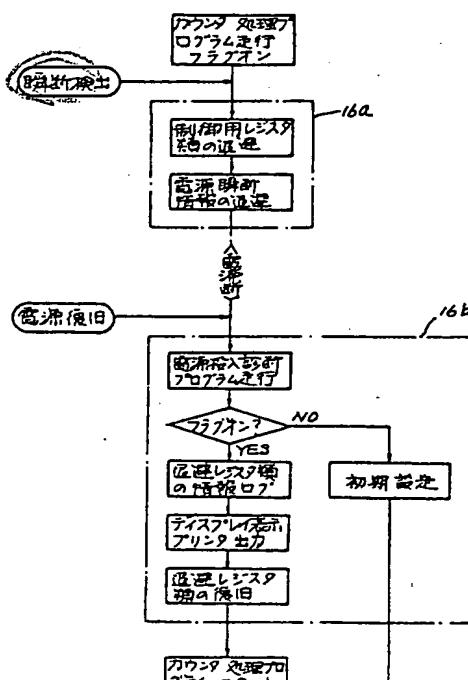
2. 16 は管理プログラム記憶部、  
 2 a. 16 a は退避プログラム、  
 2 b. 16 b は電源投入診断プログラム、  
 3 は処理プログラム記憶部、  
 3 a はカウンタ処理プログラム、4 はカウンタ  
 記憶部、4 a はカウンタ、  
 5. 17 は作業用記憶部、  
 5 a. 17 a はスタック領域、  
 5 b. 17 b はフラグ領域、  
 6 はバッテリ、7 は通信制御部、  
 8 は表示部、9 はキー入力部、  
 10 は瞬断検出部、11 は電源、  
 12 はプリンタ、13 は通信リーダ、  
 14 はカードリーダ、  
 17 c は電源瞬断情報領域、

である。

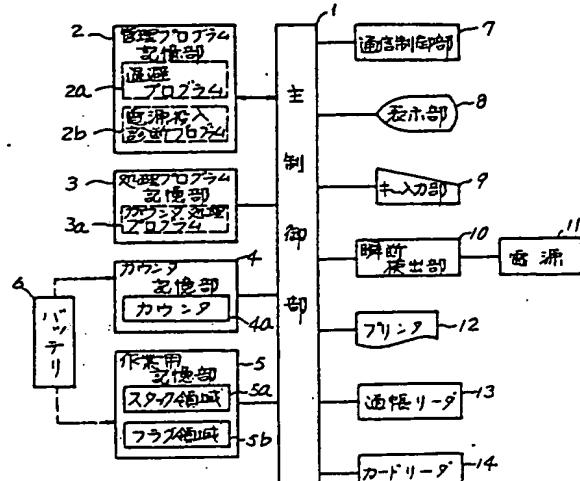


第1図(a)

代理人 弁理士 松岡宏四郎

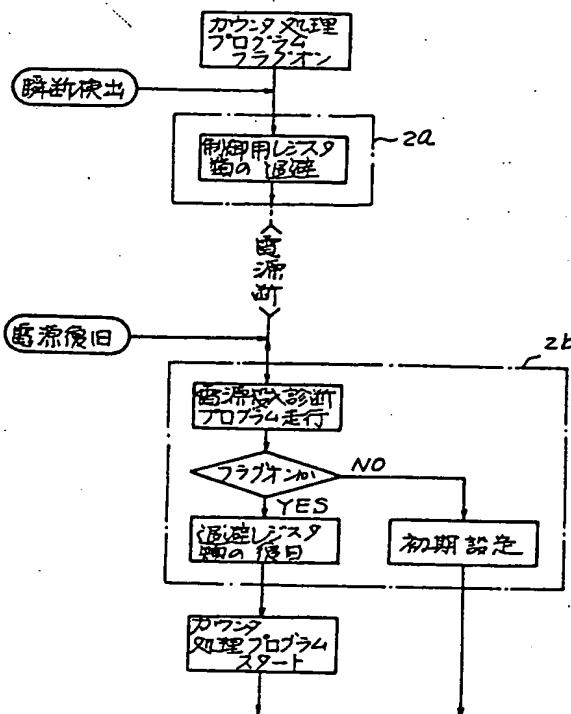


第1図(b)



第2図(a)

BEST AVAILABLE COPY



第2図 (b)